

13th European Conference on Power Electronics and Applications: EPE 2009 September 8 – 10, 2009, Barcelona, Spain

2009年9月8日から10日までの3日間、EPE2009 (13th European Conference on Power Electronics and Applications)がスペイン・バルセロナで開催された。

ヨーロッパ最大のパワーエレクトロニクスの会議であるため、ヨーロッパ以外の国からも多くの参加があり、約60カ国から700~800人が参加した。

1100件の投稿があり、査読の結果750件が採択された。採択率は68%と少し高めであった。そのうち、150件がオーラルセッション、600件がポスターセッションであった。

日本からは、オーラルセッションに14件、ポスターセッションに60件程度の発表があり、多くの日本人が参加していた。

オーラルセッションは6つのセッションが並行して行われた。同じトピックについてのセッションが同時に行われるなど少々残念な面も見受けられた。

一般の発表の他にチュートリアルが9月8日の開催日に先駆け9月7日にバルセロナ工科大学で開催された。当初9件の講演が予定されていたが3件の講演がキャンセルされ、6件の講演が行われた。

プレナリーセッションが毎日開かれ、新型デバイスについての講演や、輸送システムにおけるパワーエレクトロニクス技術、自然エネルギーを利用する技術などヨーロッパならではのトピックが多く見受けられた。

また、一般のオーラルセッションにおいても、電気自動車など輸送関連のトピックに聴衆が多数集まり盛んな議論がされていた。

ポスターセッションは各日午後開催された。採択件数が非常に多かったため一日200件程度のポスターが張り出された。非常に多くの聴衆が訪れ、盛んな議論を交わしていた。また、ポスターセッション会場が企業展示ブースに併設されていたため、企業ブースを訪れる人とポスターセッションの聴衆とが入り交じり大変混雑していた。

2日目の夜にはバンケットが催された。バルセロナは海に近いこともあって、シーフード中心の料理でもてなされた。会場は多くの出席者で混雑しており、会場スタッフも大慌ての様子であった。途中、スペインの伝統的な音楽に合わせて踊り子たちが踊りを披露していた。そのうちに数人が踊りに加わり、最後には大勢の人が輪になって踊っていた。

3日目の最終日にはクロージングセレモニーが開催され、次回のEPEはEPE-PEMC2010(マケドニア開催)を挟み2011年にイギリス・バーミンガムで開催されると紹介された。



写真1 Opening Sessionの様子

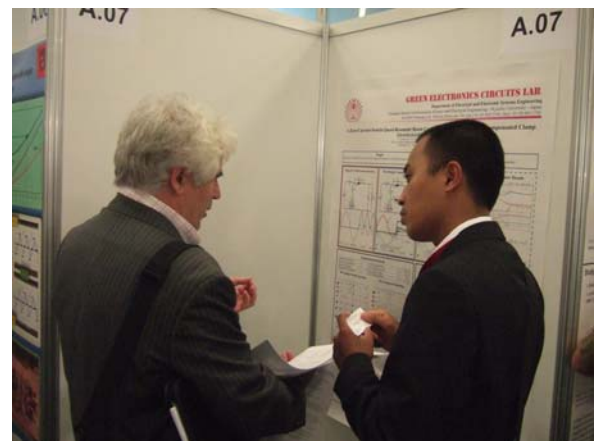


写真2 ポスターセッションの様子



写真3 バンケットの様子

安部 征哉 (九州大学)
(平成21年10月5日受付)